

技・家だより

令和3年度 第1号 通巻179号

発行

愛媛県教育研究協議会技術・家庭委員会

『令和3年度の技術・家庭科教育の充実に向けて』

愛教研技術・家庭委員会 委員長 森田 功一

はじめに

令和3年度の教育活動がスタートし、各支部の体制が整い、徐々に研究が進んでいることでしょうか。今年度も先生方のご協力をいただきながら、研究大会を成功させ、技術・家庭科教育を進めてまいります。

県内における新型コロナウイルス感染拡大状況は、現在、やや小康状態となっておりますが、今後の動きが見えない不安は続いていくと思われれます。授業を行う上で数々の制約は残っていますが、子どもたちのために、可能な限り工夫をしながら、新学習指導要領の趣旨や要点に沿った教育活動を進めていただけるようお願いいたします。

中国・四国地区中学校技術・家庭科研究大会にむけて

6月28日と29日に、文教会館と湯山中学校を会場に文部科学省視学官の上野耕史先生をお招きし、研究会を開催しました。今回は、県の研究構想発表、技術分野内容Dの授業研究と提案発表ならびに、内容A、B、Cの学習指導案と提案発表についてご指導をいただきました。また、7月1日には、文教会館と勝山中学校を会場に、県総合教育センターの近藤安美指導主事様に参加していただき、内容Aの授業研究ならびに内容A、B、C、Dの提案発表についての研究を行いました。

県下の状況を鑑み、多くの先生方にご案内することができず残念ではありましたが、中四国大会に向けて研究を進めることができました。

上野先生のご指導から、以下の点をさらに意識した研究を推進していかなければならないと感じましたので参考にしてください。

- 「見方・考え方」を働かせた問題解決的な学習を、3学年間を通して繰り返し行うことができるよう、指導計画、学習活動、評価を工夫することが愛媛県の研究のテーマであるため、目的がずれないようにする。
- グループで行う学習の中で、生徒一人一人が身に付けた資質・能力を見取ることができるような評価場面（材料）を工夫する。
- 題材の取り扱い方を、生徒の実態や発達段階に応じた難易度に設定する。
- 中四国大会では、これまでの多くの具体的実践を、参会者に伝わりやすい方法で表現、発信する。

各支部の先生方には、これまで、長い年月をかけて中四国大会に向けて研究を推進していただきました。改めて感謝申し上げます。

そこで、大会の開催につきまして、本部役員で検討を重ねた結果、現在の中四国地区の感染拡大状況や全国各ブロック大会の動向から、以下のように変更させていただきます。

○ 開催日

10月28日（木）中四国地区理事会（オンライン）

10月29日（金）公開授業・授業分科会（8分科会）

提案分科会・全大会（8分科会）

○ 参集者：県内の技術・家庭科担当者

（県外は、オンライン参加）

県外の先生方には、授業をリアルタイムでオンライン配信できるよう、現在、諸準備を進めています。ものづくりフェアについての開催要項も含め、詳細は、後日お知らせします。また、今後の状況の変化によって更なる変更も考えられますのでご了承ください。

おわりに

生活や社会の急速な変化に対応して、子どもたちの学びは変化します。各教科の中でも、特に技術・家庭科は、その影響を直接受け、より工夫された時代に即した学びを推進していく必要があります。

よく耳にする言葉に「不易と流行」があります。本年度が学習指導要領全面実施ということもあって、ここ数年、「流行」の部分が注目されてきました。それは当然のことです。では、本教科における「不易」の部分とは何でしょうか。先生方の絶え間ない努力による教材や題材の研究・開発、道具や工具の保守・点検、感動を与える実験や実習、共同学習、他にも多くの大切なものがあります。学習指導要領における「生活や社会の中から問題を見だし、課題を設定し解決に向かうこと」は、本県で先生方が継承してきた課題解決学習の流れです。改めて「不易」に視点を当てながら、「流行」に迅速に対応していきましょう。先生方のこれまでの取組に自信を持って、子どもたちの学びを推進していただけるようお願いいたします。

令和3年度 技術・家庭科研究推進の計画

1 研究の推進について

- (1) 研究推進の手引き（愛媛県教育研究協議会）による研究を行う。※研究の手引きの内容は新学習指導要領に向けた改善を今後も行っていく。
- (2) 学習指導要領に基づき授業実践を行い、問題点を洗い出し、指導計画や教材・教具等の改善・開発を行う。
- (3) よりよい授業づくりに向けて、評価計画や評価の方法について研究を進める。

2 夏季実技研修会について

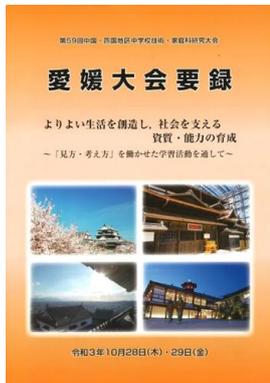
夏季実技研修会の代わりとして、松山以外の4管区については実践研究部会、松山管区については授業研究部会を開催した。

本年度の実践・授業研究部会の目的

- ① 技術・家庭科担当教師の技術的能力の向上を図り、基礎的・基本的事項の指導の徹底を図る。
- ② 県下各管区の共同研究を拡充し、本教科担当教師の指導力の向上を図るとともに、親睦を通して相互の連帯意識を高める。
- ③ 実施計画に沿った研修を行う。内容は各管区および支部の実情に合ったものにし、参加しやすい会にする。
- ④ 学習指導要領における指導計画や教材等の情報交換を行い、各自が研究を推進していけるようにする。特に、令和3年度の中国・四国研究大会に向けた研究を推進する。

3 実践集録について

今年度は愛媛大会の研究大会要録を作成した。



第59回中国・四国地区中学校
技術・家庭科研究大会
愛媛大会要録
令和3年10月18日発行
発行所
愛媛県教育研究協議会
技術・家庭委員会

図1：愛媛大会要録

4 愛媛県による中学生創造ものづくり教育フェアについて

- (1) 『生徒作品コンクール』（愛媛県）
 - ① 各管区での審査会参加の作品 入選
 - ② 県審査に選出された作品 優秀賞
 - ③ 全国大会出品候補（各管区で3点程度）
 - (2) 『創造アイデアロボットコンテスト』
 - ア 愛媛県大会 令和3年11月開催予定
 - イ 中国・四国大会 令和3年12月開催予定
- ※ 部門や審査方法を検討中。後日、担当者より連絡。

**第59回中国・四国地区中学校技術・家庭科研究大会
愛媛大会について**

期 日

令和3年10月28日（木）・29日（金）

28日（木）中国・四国地区理事研修会（オンライン）
29日（金）公開授業・授業分科会（8分科会）
提案分科会（8分科会）・全大会

会 場

- ① 中国・四国地区理事研修会（にぎたつ会館）
- ② 公開授業及び授業分科会・提案分科会

第1会場	技術分野A 材料と加工の技術 家庭分野C 消費生活・環境	東温市立 重信中学校
第2会場	技術分野B 生物育成の技術 家庭分野B1 衣食住の生活(食生活)	松山市立 余土中学校
第3会場	技術分野C エネルギー変換の技術 家庭分野A 家族・家庭生活	松山市立 勝山中学校
第4会場	技術分野D 情報の技術 家庭分野B2 衣食住の生活(衣・住生活)	松山市立 道後中学校

- ③ 全体会（エスポワール愛媛 文教会館）

主 題

よりよい生活を創造し、社会を支える資質・能力の育成
～「見方・考え方」を働かせた学習活動を通して～

主題設定の理由

これからの社会を生きる生徒には、社会の急激な変化に主体的に対応し、自ら課題を見だし解決できる能力が求められている。新学習指導要領において、技術・家庭科では、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力の育成を目標としており、育成すべき資質・能力の三つの柱を着実に養うためには、生徒の実態に応じて、教科固有の見方・考え方を働かせた実践的・体験的な学習活動を展開することが必須である。

本県では、これまで研究に取り組んできた問題解決的な学習の在り方を継承しつつ、改訂の趣旨を踏まえ、題材を貫く課題を設定した指導計画、見方・考え方を働かせた学習活動、資質・能力を見取る学習評価を研究の柱として位置付け、質の高い学びを実現することで、これからの社会の創り手となる生徒に、よりよい生活を創造し、社会を支える資質・能力を育成したいと考え、本研究主題を設定した。

令和3年度 技術・家庭委員会(中学校)役員表

役 職	氏 名	学 校 名	郵便番号	所 在 地	電話番号
委員長	森田 功一	松山市立北中学校	799-2662	松山市太山寺町 491-1	089-978-3321
副委員長	渡部ゆかり	松山市立勝山中学校	790-0823	松山市清水町 3 丁目 148-2	089-925-4005
	大久保 浩	新居浜市立船木中学校	792-0856	新居浜市船木甲 3754-1	0897-41-6347
	永木 泰造	松山市立余土中学校	790-0043	松山市保免西 4 丁目 5 番 23 号	089-972-0010
	村上 剛	伊方町立瀬戸中学校	796-0502	西宇和群伊方町三机乙 3305-1	0894-52-0029
事務局	北川 雅士	松山市立久米中学校	791-1102	松山市来往町 689	089-975-0501
	土手 佳代	愛媛大学教育学部附属中学校	790-0855	松山市持田町 1-5-22	089-913-7850
	猪川 篤美	松山市立内宮中学校	799-2654	松山市内宮町 569-1	089-978-0046
	井ノ口 光彦	東温市立川内中学校	791-0301	東温市南方 467-1	089-966-2031
	泉 聡司	松山市立小野中学校	791-0242	松山市平井町 3690 番地	089-975-0988
研究局 (研究局員)	濱田 伸哉	松山市立椿中学校	790-0947	松山市坪南一丁目 1 番 20 号	089-957-8650
	向井 喜子	松山市立三津浜中学校	791-8053	松山市若葉町 8-48	089-951-0531
	萩野 さくら	松山市立道後中学校	790-0853	松山市上市 1 丁目 3 番 57 号	089-921-4207
	薬師神 吉啓	愛媛大学教育附属中学校	790-0855	松山市持田町 1-5-22	089-913-7845
編集局	神野 あかり	砥部町立砥部中学校	791-2122	伊予郡砥部町千足 68 番地	089-962-2008
	白石 拓也	松山市立東中学校	790-0826	松山市文京町 2-2	089-924-8588
広報局	大藤 美紗	松山市立北条南中学校	799-2436	松山市河野別府 12	089-994-0230
	小山 清	松山市立北条北中学校	799-2430	松山市北条辻 365	089-993-0038
	木下 法彦	松山市立久谷中学校	791-1133	松山市浄瑠璃町 940	089-963-1025
	河合 康成	松山市立内宮中学校	799-2654	松山市内宮町 569-1	089-978-0046
	柏木 愛梨	松山市立拓南中学校	790-0962	松山市枝松 5 丁目 4 番 39 号	089-931-8518

お知らせ

広報局より

日頃より「技・家だより」を見ていただいているすべての方々に感謝申し上げます。

第 59 回 中国・四国地区 中学校技術・家庭科研究大会（愛媛大会）の特設 Web ページを開設しました。

(図 2：特設 Web ページのアドレス <https://chushikoku-gika2021.jp/>)

大会の最終案内もダウンロードできますので、是非ご覧ください。

また、従来の HP にも技・家だよりや各局からの案内を掲載しておりますので、ご覧いただければ幸いです。(図 3：愛媛県技術・家庭科委員会 http://ehime-gika.net/nc/index.php?page_id=0)



図 2：第 59 回 中国・四国地区 中学校技術・家庭科研究大会の公式 HP



図 3：愛媛県技術・家庭科委員会 HP

沢山の方々のご協力を得て、この度、技・家だよりを発行することができました。本当に感謝いたします。今後も、愛媛県の中学校技術・家庭科の先生方の取組を発信していきたいと考えております。よろしく願いいたします。

